第3回小中学校の望ましい在り方検討委員会要旨報告

日時 18年9月25日(月)17:00~19:00

場所 教育会館

事務局から中学校の学校別の児童生徒の推移について説明しました。その後、中学校の統廃合について、2つの分散会に分かれて検討しました。各委員から出た主な意見は次のとおりです。

第1分散会

- ・統廃合が児童・生徒数の減少で避けられないとすると、不審者やクマ等で安全が保たれない現状ですので、スクールバス等が確保できないとみんなが納得しないし、難しいのではないかと思います。安全で安心して学校に行けることが前提になると思います。
- ・高齢化はもっと進みますし大人も減ってきています。足の確保については、交通体系を見直さないといけない。足の確保は子どもの問題でもあるが大人、特に高齢者の問題でもあります。
- ・小学校は分校化し、小・中併設にしてはどうかと思います。
- ・中学校では、統廃合をしていこうという、みんなにそれだけの意志があるだろうか。中学校の統廃合は、少し時期が早いような気がします。
- ・小学校については、統廃合して欲しいという意見はありますが、中学校についてはあまりないのでしょうか。「小学校で野球をしてきましたが、北部中には無いので、中部中に行けるように、通学区域を弾力化して欲しい」という人がいます。
- ・中学校の方が小学校より統廃合が楽なのではないでしょうか。小学校は、地域に密着しているので難しい面があります。今から議論していった中学校の方も統廃合が必要と考えます。
- ・1学年2クラスの方が、子どもにとって良いと思います。1クラスになったら、免許外が多くなるのでかわいそうです。今のところ現状維持ではどうかと思います。
- ・部活動の選択肢は多い方が良いと思います。
- ・中学校3校を維持する財政力があるのかどうか。平成30年の勝山市の財政はどうでしょうか。
- ・勝山市が合併しないと決めたように、強いリーダーシップも必要です。統廃合は、いろいろな観点でみんなが一致することは難しいので、強いリーダーシップが必要と思います。
- ・統廃合をした場合は、スクールバスが必要ですし市教委のリーダーシップも必要と思います。財政問題も考えたいと思います。
- ・統廃合は、子どもの立場に立ち子どもに焦点を当てて考えたいと思います。

第2分散会

- ・教職員の数は、クラスの人数で決まるということですが、南部中と北部中は平成30年になってもクラスの数はあまり変化がないので、教職員の数は変動が無いと考えてよいのでしょうか。

(事務局より) 中学校は、小学校に比べて、教科担任制であるため教職員の人数は多く配置されています。学級担任の他に加配があります。二つの中学校は、免許外の先生はいますが、人数は減りません。

- ・ 中学校にとって、部活は大切な部分です。文化部は、生徒の人数が減ってしまうと、無くなっていくことが多い。中学生の通学方法をよく考えた上で、統合するとなると部活も増え、部活を選択できるという意味でも子どもたちのためになります。
- ・ 本来、部活は子どもの進みたいところへいくことが1番です。
- ・ 平成30年は、表を見る限りクラスの数はあまり変わらないので、まだ統廃合はよいのではないかと思います。部活は、スポーツ少年団もあります。今の保護者の意見をもっと聞いて欲しいと思います。
- ・ 中学校の見通しを持ったほうが、小学校についても考えやすいと思います。中学校がいけるとこまでいって考えるのでは遅いのではないのでしょうか。ある程度は、中学校のめどをたてる必要があると思います。
- ・ 私立保育園の保護者会が取ったアンケートでは、「小学校の統廃合については、やむをえない」と考えている保護者が多かったのに比べ、「中学校の統廃合については、現状維持」という保護者が多かった。また、通学方法について不安を持っている人が多いので、検討して欲しいと思います。
- ・ 部活について、学校の枠を超えて考えるのも一つの方法ではないかと思います。
- ・ 維持管理の面から、積極的に魅力ある新しい学校を作るのも、選択肢に入れておくとも良いと考えます。
- ・ 勝山市として、今後どうなっていくのか。勝山市民として、誇りをもてるようになりたい。子どもにも勝山を大事に思っていて欲しい。その面から考えて、学校が1つになれば、子どもの意識も1つになれると思います。
- ・ 子どもたちは競うことが少なくなり、もまれることも少なくなっています。社会に出て、ついていけるのか心配です。統廃合を考えて欲しいと思います。
- ・ 統廃合するのであれば、通学の面(スクールバス)の対応を保護者に説明し、理解を求めていかなければならないと思います。